

第10章 聴覚障がいのある人へのサポート1（手話）

1 はじめに

手話は、聴覚障がい者にとってかけがえのないコミュニケーション手段です。

一般的に、言語には「音声言語」と「視覚言語」の二種類があります。普段皆さんが話している日本語は「音声言語」です。手話は、ある事柄の意味や内容を、表情や身振り、動作や手の動きによって表すので、「視覚言語」であり「目で見る言葉」と言えます。

手話は言語ですので、英語などの外国語を習得するのと同じで、繰り返しの練習なしには身に付きません。また、障がいの状態により聴覚障がい者の中にも手話を用いない人もいます。ここでは、選手団サポーターとして活動をする上で、知っているとより円滑にコミュニケーションを図ることのできる基本的な手話を紹介します。

2 手話実技

選手団サポーターとして活動するにあたって、知っているると便利な手話を紹介します。積極的にコミュニケーションをとりましょう。

（1）挨拶

まずは自分から挨拶をしましょう。それが豊かなコミュニケーションの輪を広げる第一歩です。

おはようございます こんにちは こんばんは

（2）歓迎

自己紹介をしましょう。

初めまして 私は〇〇といます よろしくお願ひします

（3）応援

頑張ってください お疲れ様でした
おめでとうございます

（4）お別れ

さようなら ありがとうございました

(5) 筆談でコミュニケーションをするとき

聴覚障がい者と手話でコミュニケーションをし続けることは、時に困難な場合もありますので、別なコミュニケーション方法を提案することも覚えておきましょう。

筆談でもいいですか 書きますので、少々お待ちください

【手話で自己紹介をしてみよう】

例えば・・・

こんにちは（おはようございます）
私の名前は〇〇です
ようこそ佐賀県（〇〇市）にお越しくださいました
これから6日間よろしくお願ひします
何かあったら、いつでも言ってください

《その他 ～知っているると便利な手話～》

すみません ごめんなさい 大丈夫ですか？
しばらくお待ちください 分かりました 分かりません
気を付けてください

《会場地市町名》

佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、鹿島市、小城市、嬉野市
基山町、上峰町、白石町、太良町

メモ欄